こどもがしるべき

エペソへの

エペソへのは、パウロがエペソにあてたです。このはパウロがでいたのひとつです。

エペソは、パウロの２のでたてられました。

エペソは、、、になところでした。また、ヨーロッパとアジヤをつなげるのがわるになっていて、くからがしていました。その、とのとがざるようになりました。ののひとつであるアルテミスがあるです。

パウロは、エペソので３かの、をえて、ツラノので２、しました。その、のみことばをいたをなっていたくのがのをみなきてました。それとに、のみことばはくほどまり、ますますくなっていく、きなえをけました。（19:8-20）

エペソへのでは

１つ、がののかれるからたちをんでおられ（エペソ1:4）キリストによってのどもになるようにされ、（エペソ1:5）でをされた（エペソ1:13-14）いをっています。

２つ、ののゆえにとのにんでいて、こののれにって、まれながらりをけるべきらとしてきるしかなかったたちを、かしてくださるキリストののをっています。（エペソ2:1-7）

３つ、とユダヤがひとつのになるのとののためのパウロのりをっています。（エペソ3:6-7、14-19）

４つ、ののにってののとおりきていたいをてて、さとのたしによってしいになるべきことをっています。（エペソ4:22-24）

５つ、とたちのをきすために、サタンがけてすることをえて、のをにつけてにすることをっています。（エペソ6:10-20）

はたちをののかれるからんでってくださいました。４には、エペソへのをして、パウロのように、このいのをわうようにりましょう。そのをののすべてのにえるになるでしょう。そのときにいてくるサミットのをわって、サタンとのいにしましょう。